

定期作況報告（最終）

（第7号 平成25年11月20日現在）
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

《平成24年》

11月：平均気温は2.6℃で平年より0.8℃高く、降水量は平年の118%、日照時間は平年の74%であった。
12月：平均気温は-6.9℃で平年より1.8℃低く、降水量は平年の135%、日照時間は平年の117%であった。

《平成25年》

1月：平均気温は-10.8℃で平年より2.7℃低く、降水量は平年の72%、日照時間は平年の143%であった。
2月：平均気温は-8.2℃で平年より1.0℃低く、降水量は平年の56%、日照時間は平年の99%であった。
3月：平均気温は-2.9℃で平年より0.5℃低く、降水量は平年の133%、日照時間は平年の66%であった。
4月：平均気温は3.5℃で平年より0.9℃低く、降水量は平年の123%、日照時間は平年の72%であった。
5月：平均気温は10.0℃で平年より1.4℃低く、降水量は平年の63%、日照時間は平年の87%であった。
6月：平均気温は18.1℃で平年より0.6℃高く、降水量は平年の66%、日照時間は平年の129%であった。
7月：平均気温は22.3℃で平年より2.2℃高く、降水量は平年の54%、日照時間は平年の139%であった。
8月：平均気温は21.5℃で平年より0.1℃高く、降水量は平年の145%、日照時間は平年の94%であった。
9月：平均気温は16.1℃で平年より0.3℃低く、降水量は平年の126%、日照時間は平年の86%であった。
10月：平均気温は9.7℃で平年より0.5℃高く、降水量は平年の88%、日照時間は平年の93%であった。

本年の根雪終は4月20日で平年より9日遅く、積雪期間は平年より15日長かった。耕鋤始は4月24日で平年より4日遅かった。晩霜は平年より6日早い5月8日であった（表1）。

以上、農耕期間の4月～10月についてまとめると、気温は4月、5月が低く、6月、7月、10月が高く経過した。降水量は4月、8月、9月が多く、5月、6月、7月、10月が少なく経過した。日照時間は6月、7月が多く、4月、5月、8月、9月10月が少なく経過した。

5月から9月までの積算値は、平年に比べ平均気温が38℃高く、降水量は平年並、日照時間は56時間多かった。

平成24年11月から平成25年10月までの気象は表2のとおりである。

表1 季節表

	初霜 (前年)	降雪始 (前年)	根雪始 (前年)	根雪終 (月日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)	晩霜 (月日)	初霜 (月日)	降雪始 (月日)
本年	10月8日	11月18日	11月18日	4月20日	153	5月7日	4月24日	5月8日	9月27日	10月16日
平年	10月10日	10月25日	11月24日	4月11日	138	5月3日	4月20日	5月14日	10月9日	10月27日
比較	△ 2	24	△ 6	9	15	4	4	△ 6	△ 12	△ 11

注1) 本年は平24～25年の値。

2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10か年の平均値。

3) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川地方気象台による旭川市の観測値。

平年は過去10か年の平均値。

4) △印は平年に比べて早いあるいは短いを示す。

表2 平成25年度気象表(旬別)

年 月 旬	最高気温(°C)			最低気温(°C)			平均気温(°C)			降水量(mm)				降水日数(日)			日照時間(hr)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(%)	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(%)
	比布アメダス																			
2012 上	10.3	9.6	▲0.7	4.3	0.9	▲3.4	7.1	5.0	▲2.1	35.0	36.6	▲1.6	96	5	7	▲2	20.0	26.5	▲6.5	75
11 中	6.0	5.2	▲0.8	-1.2	-2.0	▲0.8	2.4	1.5	▲0.9	40.5	32.3	▲8.2	125	5	7	▲2	15.6	20.0	▲4.4	78
下	0.8	2.5	▲1.7	-4.5	-4.4	▲0.1	-1.6	-0.9	▲0.7	51.5	38.9	▲12.6	132	10	7	▲3	11.4	17.4	▲6.0	66
平均・合計	5.7	5.8	▲0.1	-0.5	-1.8	▲1.4	2.6	1.9	▲0.8	127.0	107.8	▲19.2	118	20	21	▲1	47.0	63.9	▲16.9	74
12 上	-1.0	-0.2	▲0.8	-8.2	-7.6	▲0.6	-4.1	-3.5	▲0.6	68.0	29.2	▲38.8	233	8	7	▲1	18.1	17.9	▲0.2	101
中	-3.1	-2.1	▲1.0	-10.6	-10.0	▲0.6	-6.3	-5.4	▲0.9	20.0	25.3	▲5.3	79	6	7	▲1	16.2	14.5	▲1.7	112
下	-5.7	-2.8	▲2.9	-16.9	-11.1	▲5.8	-10.4	-6.4	▲4.0	19.0	24.6	▲5.6	77	9	8	▲1	24.4	17.6	▲6.8	139
平均・合計	-3.3	-1.7	▲1.6	-11.9	-9.6	▲2.3	-6.9	-5.1	▲1.8	107.0	79.1	▲27.9	135	23	22	▲1	58.7	50.0	▲8.7	117
2013 上	-6.9	-3.5	▲3.4	-16.3	-12.2	▲4.1	-11.0	-7.2	▲3.8	22.5	16.3	▲6.2	138	6	7	▲1	29.1	17.0	▲12.1	171
1 中	-7.1	-5.0	▲2.1	-17.1	-14.2	▲2.9	-11.5	-9.0	▲2.5	6.0	18.2	▲12.2	33	3	7	▲4	31.5	22.1	▲9.4	143
下	-5.0	-4.0	▲1.0	-15.4	-13.6	▲1.8	-9.9	-8.2	▲1.7	10.5	19.3	▲8.8	54	4	7	▲3	38.9	30.7	▲8.2	127
平均・合計	-6.3	-4.2	▲2.2	-16.3	-13.3	▲2.9	-10.8	-8.1	▲2.7	39.0	53.8	▲14.8	72	13	21	▲8	99.5	69.8	▲29.7	143
2 上	-2.6	-3.4	▲0.8	-11.8	-13.9	▲2.1	-6.6	-8.0	▲1.4	12.5	13.7	▲1.2	91	5	6	▲1	16.9	33.0	▲16.1	51
中	-4.5	-2.8	▲1.7	-16.9	-13.3	▲3.6	-10.1	-7.5	▲2.6	5.0	18.6	▲13.6	27	3	6	▲3	56.3	33.8	▲22.5	167
下	-3.3	-0.9	▲2.4	-13.4	-12.4	▲1.0	-8.0	-6.1	▲1.9	10.5	17.7	▲7.2	59	4	5	▲1	26.5	33.6	▲7.1	79
平均・合計	-3.5	-2.4	▲1.1	-14.0	-13.2	▲0.8	-8.2	-7.2	▲1.0	28.0	50.0	▲22.0	56	12	17	▲5	99.7	100.4	▲0.7	99
3 上	-0.2	-0.1	▲0.1	-10.9	-10.5	▲0.4	-4.7	-4.8	▲0.1	25.0	15.1	▲9.9	166	7	5	▲2	32.2	45.5	▲13.3	71
中	1.9	2.2	▲0.3	-7.2	-7.1	▲0.1	-1.7	-2.1	▲0.4	23.0	18.8	▲4.2	122	10	5	▲5	15.4	36.8	▲21.4	42
下	2.2	4.2	▲2.0	-7.7	-5.2	▲2.5	-2.4	-0.4	▲2.0	12.0	11.1	▲0.9	108	6	5	▲1	44.2	57.3	▲13.1	77
平均・合計	1.3	2.1	▲0.8	-8.6	-7.6	▲1.0	-2.9	-2.4	▲0.5	60.0	45.0	▲15.0	133	23	15	▲8	91.8	139.6	▲47.8	66
4 上	6.6	6.8	▲0.2	-2.3	-3.7	▲1.4	2.3	1.7	▲0.6	28.5	14.6	▲13.9	195	6	5	▲1	41.0	51.3	▲10.3	80
中	6.5	10.2	▲3.7	-0.1	-0.9	▲0.8	3.1	4.5	▲1.4	16.0	18.9	▲2.9	85	7	4	▲3	35.8	56.4	▲20.6	63
下	9.8	12.8	▲3.0	0.9	1.4	▲0.5	5.1	6.9	▲1.8	18.0	17.2	▲0.8	105	8	4	▲4	33.6	45.2	▲11.6	74
平均・合計	7.6	9.9	▲2.3	-0.5	-1.1	▲0.6	3.5	4.4	▲0.9	62.5	50.7	▲11.8	123	21	13	▲8	110.4	152.9	▲42.5	72
5 上	10.1	16.2	▲6.1	0.7	3.7	▲3.0	4.8	9.8	▲5.0	5.5	31.2	▲25.7	18	4	5	▲1	50.8	51.9	▲1.1	98
中	15.1	17.4	▲2.3	4.9	4.9	0.0	9.7	11.0	▲1.3	25.5	20.0	▲5.5	128	4	4	0	29.0	57.2	▲28.2	51
下	21.9	20.1	▲1.8	9.6	7.3	▲2.3	15.5	13.4	▲2.1	16.5	24.1	▲7.6	68	3	4	▲1	72.3	65.8	▲6.5	110
平均・合計	15.7	17.9	▲2.2	5.1	5.3	▲0.2	10.0	11.4	▲1.4	47.5	75.3	▲27.8	63	11	13	▲2	152.1	174.9	▲22.8	87
6 上	25.6	22.7	▲2.9	9.8	10.2	▲0.4	17.3	16.0	▲1.3	1.0	15.4	▲14.4	6	2	3	▲1	102.6	59.6	▲43.0	172
中	25.6	23.5	▲2.1	15.7	12.3	▲3.4	20.2	17.5	▲2.7	39.5	25.1	▲14.4	157	5	3	▲2	54.6	52.9	▲1.7	103
下	23.0	25.4	▲2.4	11.3	13.7	▲2.4	16.7	19.0	▲2.3	6.0	30.0	▲24.0	20	3	3	0	61.0	57.2	▲3.8	107
平均・合計	24.7	23.9	▲0.9	12.3	12.1	▲0.2	18.1	17.5	▲0.6	46.5	70.5	▲24.0	66	10	9	▲1	218.2	169.7	▲48.5	129
7 上	28.3	25.8	▲2.5	17.9	15.0	▲2.9	22.8	19.8	▲3.0	56.5	29.5	▲27.0	192	4	3	▲1	64.0	48.5	▲15.5	132
中	28.2	24.9	▲3.3	16.4	15.1	▲1.3	21.4	19.4	▲2.0	1.0	53.2	▲52.2	2	2	4	▲2	88.1	46.5	▲41.6	189
下	29.3	27.0	▲2.3	17.6	16.3	▲1.3	22.6	21.1	▲1.5	10.5	43.0	▲32.5	24	3	4	▲1	59.2	57.2	▲2.0	103
平均・合計	28.6	25.9	▲2.7	17.3	15.5	▲1.8	22.3	20.1	▲2.2	68.0	125.7	▲57.7	54	9	11	▲2	211.3	152.2	▲59.1	139
8 上	28.1	28.2	▲0.1	17.5	18.4	▲0.9	22.3	22.8	▲0.5	34.5	43.0	▲8.5	80	2	3	▲1	63.7	51.6	▲12.1	123
中	28.6	27.0	▲1.6	20.3	17.0	▲3.3	23.6	21.4	▲2.2	100.0	66.9	▲33.1	149	7	4	▲3	31.6	46.3	▲14.7	68
下	23.8	25.5	▲1.7	15.0	15.1	▲0.1	18.7	20.0	▲1.3	91.0	45.2	▲45.8	201	10	4	▲6	48.0	54.4	▲6.4	88
平均・合計	26.8	26.9	▲0.1	17.6	16.8	▲0.8	21.5	21.4	▲0.1	225.5	155.1	▲70.4	145	19	11	▲8	143.3	152.3	▲9.0	94
9 上	22.3	24.7	▲2.4	13.9	14.1	▲0.2	17.8	18.9	▲1.1	49.0	66.3	▲17.3	74	6	5	▲1	36.8	47.1	▲10.3	78
中	22.1	23.0	▲0.9	12.2	11.8	▲0.4	17.1	16.9	▲0.2	85.5	39.3	▲46.2	218	4	4	0	37.8	49.1	▲11.3	77
下	19.2	19.4	▲0.2	7.1	8.0	▲0.9	13.3	13.3	0.0	45.0	37.2	▲7.8	121	2	5	▲3	50.1	48.8	▲1.3	103
平均・合計	21.2	22.4	▲1.2	11.1	11.3	▲0.2	16.1	16.4	▲0.3	179.5	142.8	▲36.7	126	12	14	▲2	124.7	145.0	▲20.3	86
10 上	19.2	17.5	▲1.7	7.9	6.1	▲1.8	13.5	11.3	▲2.2	3.5	38.0	▲34.5	9	3	5	▲2	55.4	49.4	▲6.0	112
中	13.1	15.3	▲2.2	3.4	4.1	▲0.7	8.1	9.4	▲1.3	47.5	34.3	▲13.2	138	6	6	0	32.3	42.3	▲10.0	76
下	12.3	12.4	▲0.1	3.1	2.3	▲0.8	7.6	7.0	▲0.6	47.0	39.4	▲7.6	119	5	6	▲1	34.2	39.2	▲5.0	87
平均・合計	14.9	15.1	▲0.2	4.8	4.2	▲0.6	9.7	9.2	▲0.5	98.0	111.7	▲13.7	88	14	17	▲3	121.9	130.9	▲9.0	93

- 1) 比布アメダス観測値。
 2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。
 3) ▲印は平年に比べて減を示す。

表3 農耕期間積算値(5月～9月)

	平均気温(°C)	降水量(mm)	日照時間(hr)
本年	2696	567	850
平年	2658	569	794
比較	38	-2	56

1) 水 稲 : やや良

事由：播種は平年より1～2日遅い4月15日に行った。育苗期間中は、平年より低温寡照で、出芽揃に日数を要し、苗の生育は停滞した。移植は平年より1日遅い5月20日に行った。移植時の主稈葉数と茎数は平年より少なく、第1葉鞘高は平年より高く、地上部乾物重は平年より軽く、移植時の苗素質は平年より劣った。

移植後から幼穂形成期までは、平年より日照時間が短かった6月第4半旬および第5半旬を除いて高温多照で、活着および初期生育は良好であった。幼穂形成期は平年より3～4日早く、生育は平年より進んだ。幼穂形成期から出穂期までは、平年より高温多照で、止葉期は平年より4～5日、出穂期は7月14～17日で平年より6～9日それぞれ早く、生育は平年よりかなり進んだ。主稈の止葉葉数は平年並からやや少なく、穂揃日数は平年よりやや短かった。

出穂期から8月上旬までは、平均気温が平年よりやや高く日照時間が平年並で、8月中旬から成熟期までは平年より日照時間が短かった。成熟期は平年より8～12日早く、登熟日数は平年並からやや短かった。

成熟期の稈長は平年並からやや長く、穂長は平年並であった。一穂粒数は平年より2～8%少なかったが、 m^2 あたり穂数は平年より9～21%多く、 m^2 あたり粒数は平年より8～13%多かった。稔実歩合は平年よりやや高く、登熟歩合は平年並からやや高かった。精玄米千粒重は平年並からやや重かった。精玄米重は「ほしのゆめ」が10aあたり653kg、「きらら397」が654kg、「ななつぼし」が663kgおよび「ゆめぴりか」が653kgで、収量平年比は101～109%（4品種平均で105%）であった。玄米の検査等級はいずれの品種も1等で、平年並であった。

以上のことから、本年の作況は「やや良」である。

表4 水稻の生育

項目	品種名 /年次	ほしのゆめ			きらら397			ななつぼし			ゆめびりか			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
生育期節	播種期 (月日)	4.15	4.13	2	4.15	4.13	2	4.15	4.13	2	4.15	4.14	1	
	移植期 (月日)	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1	
	幼穂形成期 (月日)	6.20	6.24	△4	6.22	6.26	△4	6.20	6.23	△3	6.21	6.25	△4	
	止葉期 (月日)	7.05	7.10	△5	7.07	7.12	△5	7.06	7.10	△4	7.05	7.11	△5	
	出穂期 (月日)	7.15	7.22	△7	7.17	7.24	△7	7.16	7.22	△6	7.14	7.23	△9	
	成熟期 (月日)	8.28	9.06	△9	9.04	9.12	△8	9.01	9.10	△9	8.29	9.10	△12	
	穂揃日数 (日)	6	8	△2	6	7	△1	7	8	△1	7	8	△1	
	登熟日数 (日)	44	46	△2	49	50	△1	47	49	△2	46	49	△3	
	生育日数 (日)	135	146	△11	142	152	△10	139	149	△10	136	150	△14	
移植時	草丈 (cm)	11.7	13.3	▲1.6	10.1	13.2	▲3.1	10.5	14.0	▲3.5	10.7	14.3	▲3.6	
	葉数 (枚)	3.4	4.0	▲0.6	3.5	4.3	▲0.8	3.4	4.2	▲0.8	3.6	4.4	▲0.8	
	茎数 (本)	1.2	2.1	▲0.9	1.4	2.0	▲0.6	1.1	1.9	▲0.8	1.5	2.1	▲0.6	
	第1葉鞘高 (cm)	3.0	2.6	0.4	2.8	2.5	0.3	2.8	2.6	0.2	2.8	2.5	0.3	
	地上部乾物重 (g/100本)	3.07	4.28	▲1.21	3.00	4.38	▲1.38	3.22	4.58	▲1.36	3.14	5.16	▲2.02	
本田生育	葉数 (枚)	6月20日	8.4	8.0	0.4	8.8	8.6	0.2	8.4	8.2	0.2	8.7	8.4	0.3
		7月20日	10.1	10.1	0.0	10.8	11.2	▲0.4	10.0	10.5	▲0.5	10.2	10.8	▲0.6
	止葉葉数	10.1	10.1	0.0	10.8	11.2	▲0.4	10.0	10.5	▲0.5	10.2	10.8	▲0.6	
	茎数 (本/m ²)	6月20日	878	614	264	900	647	253	792	543	249	922	590	332
		7月20日	901	792	109	861	784	77	813	723	90	923	764	159
	草丈 (cm)	6月20日	43.0	36.6	6.4	38.5	33.5	5.0	46.5	38.8	7.7	44.3	34.8	9.5
		7月20日	85.9	79.5	6.4	77.4	73.9	3.5	86.4	83.0	3.4	84.5	75.9	8.6
出穂期後登熟歩合 (%)	20日目	29.5	15.7	13.8	22.9	14.4	8.5	17.2	13.4	3.9	18.9	11.9	7.0	
	30日目	75.1	63.6	11.5	74.4	62.9	11.5	62.3	58.6	3.7	65.5	54.2	11.3	
	40日目	85.2	83.5	1.7	82.2	81.7	0.5	84.3	84.1	0.2	83.7	74.8	8.9	
成熟期	稈長 (cm)	69.3	64.7	4.6	62.8	62.8	0.0	69.1	68.5	0.6	66.1	65.3	0.8	
	穂長 (cm)	16.3	16.3	0.0	17.0	16.8	0.2	17.3	17.0	0.3	17.1	16.6	0.5	
	穂数 (本/m ²)	843	737	106	805	702	103	722	660	62	860	713	147	
収量構成要素	一穂粒数 (粒)	42.1	42.8	▲0.7	41.1	43.4	▲2.3	49.6	50.4	▲0.8	40.4	44.1	▲3.7	
	m ² あたり粒数 (×千)	35.5	31.4	4.1	33.1	30.2	2.9	35.8	33.3	2.5	34.7	31.4	3.3	
	稔実歩合 (%)	95.9	94.1	1.8	96.7	94.4	2.3	97.6	95.4	2.2	94.3	89.6	4.7	
	登熟歩合 (%)	89.9	87.4	2.5	87.4	86.1	1.3	91.3	90.5	0.8	88.4	80.0	8.4	
	籾摺歩合 (%)	80.8	79.9	0.9	82.2	80.4	1.8	82.3	81.6	0.7	81.0	78.3	2.7	
	屑米歩合 (%)	3.0	2.6	0.4	1.6	1.9	▲0.3	1.9	1.5	0.4	2.2	3.3	▲1.1	
	精玄米千粒重 (g)	22.9	22.6	0.3	23.6	23.4	0.2	22.5	22.5	0.0	23.1	22.6	0.5	
収量	藁重 (kg/10a)	623	630	▲7	592	604	▲12	633	639	▲6	598	664	▲66	
	精籾重 (kg/10a)	808	761	47	794	790	4	805	803	2	808	764	44	
	精玄米重 (kg/10a)	653	608	45	654	635	19	663	655	8	653	598	55	
	収量平年比 (%)	107	100	7	103	100	3	101	100	1	109	100	9	
	検査等級 (等)	1	1下	-	1	1下	-	1	1下	-	1	1下	-	

注 1) 「ほしのゆめ」「きらら397」「ななつぼし」の平年値は前7カ年の中、平成20年、平成21年を除く5カ年の平均。

「ゆめびりか」の平年値は前5カ年の平均。

2) △は平年に比べ「早」、▲は平年に比べ「減」を示す。

3) 苗代耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥量：成分量でm²あたり、床土 N 3.0g, P 7.2g, K 3.0g、置床 N 27.0g, P 34.0g, K 18.0g

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m² (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：成分量で10aあたり、N 8.0kg, P 9.7kg, K 6.9kg、堆肥1,000kg

5) 精玄米千粒重・精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算

2) 秋まき小麦：不良

平成 24 年播種

天候不順のため播種作業は遅れ、播種期は平年より 12 日遅れの 9 月 24 日となり、出芽期は平年より 10 日遅れの 10 月 1 日となった。播種が遅れたため、越冬前の生育は平年を大きく下回った。根雪始は平年より 6 日早く、根雪終は平年より 9 日遅く、積雪期間は平年より 15 日長い 153 日となったが、雪腐病発病度は平年より低く、越冬状況は良好であった。発生菌種は紅色雪腐病、雪腐褐色小粒菌核病および褐色雪腐病であった。起生期以降、低温少照に経過したため生育は緩慢であったが、5 月下旬以降、気温が高く経過したことから生育はやや回復し、出穂期は平年より 3 日遅い 6 月 10 日となった。その後、6 月下旬を除き、気温が高温で経過したことから登熟は進み、成熟期は平年並となった。穂数と穂長は平年並であったが、稈長は平年を大きく下回り、生育は小出来となった。高温傾向で推移したため、登熟日数が平年より 3 日短く登熟条件は不良であった。このため、リットル重は平年よりやや重いものの、千粒重は平年よりやや軽く、子実重は平年比 83 % と低収になった。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表 5 秋まき小麦の生育および収量

品 種 名		きたほなみ		
項 目	年次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	9.24	9.12	12
出芽期	(月.日)	10.01	9.21	10
出穂期	(月.日)	6.10	6.07	3
成熟期	(月.日)	7.19	7.19	0
越冬茎歩合	(%)	140.9	111.4	29.5
雪腐病発病度		6.3	14.0	▲ 7.7
葉数(枚)	平24年10月20日	3.2	4.8	▲ 1.6
草丈 (cm)	平24年10月20日	16.3	20.2	▲ 3.9
	平25年 5月20日	31.5	41.0	▲ 9.5
	平25年 6月20日	77.8	93.0	▲ 15.2
茎数 (本/m ²)	平24年10月20日	527	946	▲ 419
	平25年 5月20日	1576	1216	360
	平25年 6月20日	731	678	53
成 熟 期	稈長 (cm)	70	84	▲ 14
	穂長 (cm)	8.3	8.6	▲ 0.3
	穂数(本/m ²)	643	659	▲ 16
子実重	(kg/10a)	580	696	▲ 116
同上	平年比 (%)	83	100	▲ 17
リットル重	(g)	817	794	23
千粒重	(g)	39.0	39.6	▲ 0.6
検査等級	(等)	1	2中	-

注 1) 平年値は、前 7 か年中、平成 19 年、22 年（収穫年度）を除く 5 か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。

3) 春まき小麦：良

事由：融雪の遅れとその後の天候不順のため、播種期は平年より2日遅い4月24日であった。播種後、低温に経過したことから、出芽期は平年より5日遅い5月10日となり、初期生育は平年より劣った。5月下旬以降、気温が高く経過したことから生育は回復し、出穂期は平年より2日早い6月18日となった。成熟期は平年より1日遅く、登熟日数は平年より3日長かった。稈長および穂長は平年並で、穂数は平年を上回った。7月2日の突風を伴う豪雨により倒伏が発生し、子実充実への影響が懸念されたが、千粒重は平年並でリットル重と検査等級は平年を上回った。子実重は平年比117%と多収となった。

したがって、本年の作況は「良」である。

表6 春まき小麦の生育および収量

品 種 名		春よ恋		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月・日)	4.24	4.22	2
出芽期	(月・日)	5.10	5.05	5
出穂期	(月・日)	6.18	6.20	△ 2
成熟期	(月・日)	7.30	7.29	1
草丈 (cm)	5月20日	13.4	19.2	▲ 5.8
	6月20日	71.6	74.9	▲ 3.3
茎数 (本/m ²)	5月20日	319	574	▲ 255
	6月20日	843	641	202
成 熟 期	稈長 (cm)	89	92	▲ 3
	穂長 (cm)	8.7	8.6	0.1
	穂数(本/m ²)	550	469	81
子実重	(kg/10a)	527	452	75
同上	平年比 (%)	117	100	17
リットル重	(g)	807	790	17
千粒重	(g)	40.2	39.6	0.6
検査等級	(等)	1	2中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22年、24年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早、▲は平年より減を示す。

4) 大豆：やや不良

事由：播種期は平年並の5月22日であった。播種直後に降水があり、5月第6半旬以降高温に経過したため、出芽期は平年より3日早かった。出芽期以降もかなり高温に経過したため、初期生育は平年より早かった。7月2日の突風を伴う豪雨により、葉に穴があき茎がなびいたが、その後ほぼ回復し、開花期は平年より6日早かった。開花期頃から8月8日まで著しい高温、少雨が続いたため、主茎長は平年より10cm以上短く、倒伏はほとんど発生しなかった。成熟期は平年より5日早かった。分枝数はほぼ平年並であったが、着莢数は平年より11個/株少なかった。百粒重は平年より1.2g重く、子実重は平年比96%とやや低収であった。登熟後半から成熟期にかけての多雨により、屑粒率は平年に比べて高かった。皮切れ粒が多く、検査等級は平年より低い3等下であった。

したがって、本年の作況は「やや不良」である。

表7 大豆の生育および収量

品 種 名		ユキホマレ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.22	5.22	0
出芽期	(月.日)	6.01	6.04	△ 3
開花期	(月.日)	7.06	7.12	△ 6
成熟期	(月.日)	9.17	9.22	△ 5
主茎長 (cm)	6月20日	18.2	11.8	6.4
	7月20日	64.4	63.8	0.6
	8月20日	65.6	71.1	▲ 5.5
	成熟期	61.2	72.8	▲ 11.6
主茎 節数 (節)	6月20日	6.0	4.3	1.7
	7月20日	10.5	10.2	0.3
	8月20日	10.4	10.4	0.0
	成熟期	10.2	10.6	▲ 0.4
分枝数 (本/株)	7月20日	7.5	6.7	0.8
	8月20日	8.3	7.0	1.3
	成熟期	5.6	5.8	▲ 0.2
着莢数 (個/株)	8月20日	70	87	▲ 17
	成熟期	65	76	▲ 11
子実重	(kg/10a)	409	427	▲ 18
同上	平年比 (%)	96	100	▲ 4
百粒重	(g)	38.9	37.7	1.2
屑粒率	(%)	4.5	2.9	1.6
検査等級	(等)	3下	2中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成18年、22年を除く5か年の平均値。
2) △は平年より早、▲は平年より減を示す。

5) 小豆：不良

事由：播種期は平年より3日早い5月22日であった。出芽以降、6月下旬を除いて高温多照に経過したため、特に分枝数が多く初期生育は旺盛で、平年より1日早い7月21日に開花期に達した。しかし、7月中旬以降8月8日まで降水量が非常に少なく、高温多照に経過したため、7月末頃から圃場は著しい干ばつ状態となり、主茎の伸長が抑制されるとともに、中位節での花房の脱落や落莢が多かった。8月下旬以降はほぼ毎日降水があり、平年より6日早い9月4日に成熟期に達したが、地表に接した下位の莢の多くで莢内発芽が認められた。このため、平年と比べて、主茎長は著しく短く、莢数は少なかった。倒伏は多であった。百粒重は重かったが、子実重は平年比84%と低収であった。発芽粒や腐敗粒が多いため屑粒率は高く、品質(検査等級)はやや劣った。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表8 小豆の生育および収量

品 種 名		エリモショウズ		
項 目	年次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.22	5.25	△ 3
出芽期	(月.日)	6.06	6.10	△ 4
開花期	(月.日)	7.21	7.22	△ 1
成熟期	(月.日)	8.29	9. 4	△ 6
主茎長 (cm)	6月20日	5.6	4.5	1.1
	7月20日	38.2	34.4	3.8
	8月20日	53.7	71.2	▲ 17.5
	成熟期	52.8	76.0	▲ 23.2
本葉数 (枚)	6月20日	2.3	1.0	1.3
	7月20日	10.3	9.3	1.0
	8月20日	13.6	13.0	0.6
主茎節数 (節)	成熟期	15.0	14.9	0.1
分枝数 (本/株)	7月20日	8.3	5.7	2.6
	8月20日	7.3	5.5	1.8
	成熟期	6.7	5.0	1.7
着莢数 (個/株)	8月20日	42.1	59.7	▲ 17.6
	成熟期	47.3	58.6	▲ 11.3
子実重	(kg/10a)	271	323	▲ 52
同上	平年比 (%)	84	100	▲ 16
百粒重	(g)	13.6	12.0	1.6
屑粒率	(%)	7.9	2.2	5.7
検査等級	(等)	3下	3中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、平成20年を除く5か年の平均値。

但し、着莢数は平成20～24年の5か年の平均値。

2) △は平年より早、▲は平年より減を示す。

6) ばれいしょ：やや不良

事由：植付けは平年より3日早い5月8日に行ったが、植付後、低温の日が多かったため、萌芽期は平年並であった。5月第6半旬以降著しい高温と多照に経過し、圃場が乾燥したため、茎の伸長は抑制気味であったが、開花始は平年より4日早かった。7月2日には突風を伴う豪雨により倒伏したが、その後は開き気味に起き上がった。茎長は平年をやや上回ったが、著しい高温と少雨により、7月中旬頃から茎葉が萎れ始め、枯凋期は平年より5日早かった。塊茎形成期の6月第3半旬までの少雨により、株当たり上いも数は平年より3.5個少なかった。一個重は平年より22g重かったが、いも数の少なさを補うまでには至らず、上いも収量の平年比は88%と低収であった。一個重が重く、Sサイズのいもが少なかったことから、中以上いも収量の平年比は95%であったが、3L以上のいもが多かったため規格内いも収量は平年比92%であった。でん粉価は7月には平年より低かったが、収穫期には平年を0.4ポイント上回った。

したがって、本年の作況は「やや不良」である。

表9 ばれいしょの生育および収量

品 種 名		男爵薯		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.08	5.11	△ 3
萌芽期 (月.日)		5.29	5.29	0
開花始 (月.日)		6.20	6.24	△ 4
枯凋期 (月.日)		8.28	9.02	△ 5
茎長 (cm)	6月20日	31.9	34.6	▲ 2.7
	7月20日	52.8	50.2	2.6
上いも数 (個/株)	7月20日	7.5	9.7	▲ 2.2
	8月20日	8.6	12.1	▲ 3.5
上いも平均一個重 (g)	7月20日	92	74	18
	8月20日	116	93	23
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	3047	3166	▲ 119
	8月20日	4429	4986	▲ 557
でん粉価 (%)	7月20日	12.8	13.5	▲ 0.7
	8月20日	15.1	15.2	▲ 0.1
収 穫 期	上いも数 (個/株)	8.5	12.0	▲ 3.5
	上いも平均一個重 (g)	115	93	22
	上いも収量 (kg/10a)	4347	4915	▲ 568
	同上平年比 (%)	88	100	▲ 12
	中以上いも収量 (kg/10a)	4015	4232	▲ 217
	同上平年比 (%)	95	100	▲ 5
	規格内いも収量 (kg/10a)	3747	4070	▲ 323
	同上平年比 (%)	92	100	▲ 8
でん粉価 (%)	15.6	15.2	0.4	

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、22年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早、▲は平年より減を示す。

3) 規格内いも収量は、生食用規格内 (M～2L:60～260g) の収量である。